

特別講義プログラム

2019年度 クロード・ドゥラングル客員教授 サクソフーン 特別講義

1. 日 時 : 2019年 5月 20日(月) 17:00~20:00
2. 場 所 : ミレニアムホール
3. 対象学生(必修) : サクソフーン全専攻生(管楽器専攻、管楽器コース)
4. 講師紹介 : クロード・ドゥラングル 氏 (Claude DELANGLE)

クロードドゥラングル

フランス、リヨン生まれ。1988年より世界最高峰と名高いパリ国立高等音楽院サクソフーン科教授を勤める。ギャップ欧州サクソフーン大学の共同創始者であり、1988年より同大学芸術監督を勤める。フランス芸術文化勲章受勲者。

1986年から2000年までピエール・ブーレーズ氏からの依頼により彼自身が率いるアンサンブル・アンテルコンテンポランのソリストを勤める。またルチアーノ・ベリオ氏とコラボレーターとして作品創作に密接に関わるなど、世界的な作曲家、指揮者、主要オーケストラなどと共にオーケストラの新しいレパートリーの発展に貢献している。

これまでにノルウェーのCDレーベル、BISから12枚のアルバムを発表。またドイツ・グラモフォン、ハルモニア・ムンディ、エラート、ヴァラニーなどのレーベルからドビュッシー、ウェーベルン、ベリオ、デニゾフ、デュフォー、グリゼイ、デニゾフ、フィリップ・ルルーなどの作曲家のモノグラフCDの録音に参加している。

パリエコール・ノルマル音楽院教授であり妻であるオディール・ドゥラングル氏とは「デュオ・ドゥラングル」として40年以來共演を続け、世界各国に招かれている。

サクソフーンのメーカーであるセルマー社のアドバイザーとして楽器開発にも貢献。またフランスの出版社、アンリ・ルモアンヌ社では「クロード・ドゥラングル・コレクション」として自身のセレクションによる出版活動をおこなっており、彼の友人である作曲家のブルーノ・マントヴァーニ、野平一郎、棚田文紀各氏をはじめとした作曲家の作品を世の中に広めている。

5. 講 義 概 要 :

受講生

魚住 愛佳 Aika Uozumi (学3) Pf. 南部 実子(演3)
A. デザンクロ／前奏曲、カデンツと終曲 (Alfred Desenclos / Prélude, Cadence et Finale)

五十嵐 蓮 Ren Igarashi (学4) Pf. 秋山 里菜(院2)
H. トマジ／協奏曲 (Henri Tomasi / Concerto)

植田 ねね Nene Tsuchida (院2) Pf. 夏目 有香(演奏員)
T. エスケシュ／暗黒の歌 (Thierry Escaich / Le chant des ténèbres)

松田 拓也 Takuya Matsuda (院2) Pf. 夏目 有香(演奏員)
I. ダール／協奏曲より第1、第2楽章 (Ingolf Dahl / Concerto 1mov. 2mov.)